

The Creator 02

自分が苦しんだ疾病が導いた オリジナルサウナの開発



最上町で住宅リフォームを手掛ける「ウェルスハシモト」が、見た目が三角形のおにぎりのようなサウナ「Omusubi(おむすび)」を開発、山形と宮城の両県で販売を始めました。開発した橋本広幸社長本人がサウナの愛好家であるため、自身が思う理想の温浴を追い求めた機能がこの製品に最大限反映されています。

中央に熱源となるストーブを置き、アロマオイル入りの水をかけて温度を上げるロウリュウも楽しめるなど、基本機能は愛好家も満足する行く仕様になっています。建築素材にスギ材を多様しているのは、県産材の地産地消と、スギが持つ蓄熱作用により、背中まで温まることを追求した結果です(内装にスギとアルミを融合させた独自の内装は特許出願中)。

では何故にリフォーム会社がオリジナルサウナを創るようになったのか?と聞けば、それには橋本社長の過去の辛い経験が関係しています。

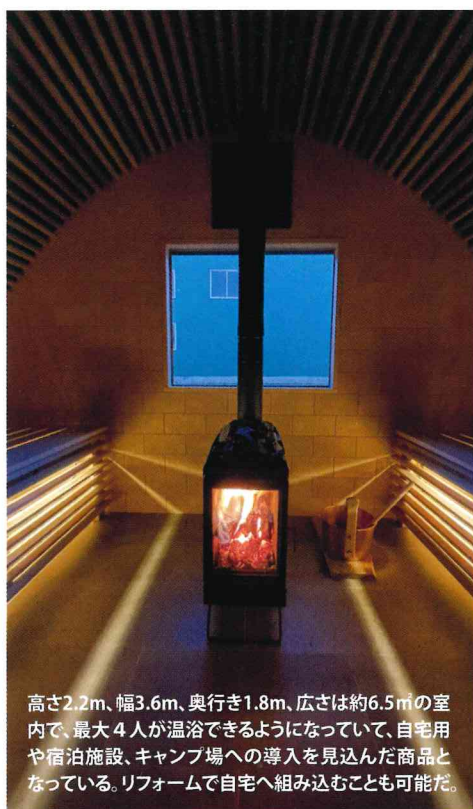
実父が創業した稼業(創業当時は建具屋)を継ぐため、一度は離れたいた故郷に戻ってからは、仕事や自身の生き方に対する葛藤や悩みであった

り、その影響が家庭にも及んだ結果、尋常ではないストレスから「痒疹(ようしん)」が体に現れるようになり、病院からも一生薬との付き合い合いが避けられない旨の宣告を受けます。

この時に一生懸命学んで行き着いたのが予防医学の考え方であり、「心と体の健康」でした。

商品で扱っていたミストサウナの効能を知ってからは本格的にサウナを研究し、通って利用するだけではなく、いつしか自身の理想のサウナを開発したいと思うようになり、「Omusubi」誕生の礎となりました。

折しもサウナブームが追い風のようになっていますが、ブームありきの商品ではないと話す橋本さん。サウナの本質である「調う」という考え方で、地域にウェルネスを根付かせたいと意気込んでいます。



高さ2.2m、幅3.6m、奥行き1.8m、広さは約6.5㎡の室内で、最大4人が温浴できるようになっていて、自宅用や宿泊施設、キャンプ場への導入を見込んだ商品となっている。リフォームで自宅へ組み込むことも可能だ。



[最上町]調うリフォーム®専門店
ウェルスハシモト

橋本 広幸さん
はし もと ひろ ゆき

山形県最上郡最上町向町279-13
TEL:0233-43-4103
MAIL:wells-h@if-n.ne.jp

wells-hashimoto.jp

